

2015年3月 組織部のページ

井手上 嵯峨山 則友(豊中) 天野 大西(泉州) 林 木村清(teruru) 砺波(ELF) 後藤や(泉州/ELF)
近藤(白峰) 仲本(MONTES) 浜田(げんごろう) 中島(OAR)~部員等 201621 現在 順不同敬称略~

『突撃！府連の各クラブ』

其の13 高槻勤労者山岳会 (1969年創立 会長 三鍋敏郎)

高槻といえば、名山 ポンポン山があることで有名です。春にはカタクリの花の咲くこの山にゴルフ場計画が持ち上がったときには、大阪・京都の諸団体と連携して、計画中止に追い込んだと HP の冒頭に書いてありました。今も全国一斉クリーンハイクだけでなく東海自然歩道の清掃活動や盗掘防止の見回りなどの活動をしています。

おらが山「ポンポン山」の名のついた機関紙は年6回発行され、45名ほどの会員に配布されます。42歳から80歳まで、平均すると66歳ぐらいの会員は、この会報で山行企画を知り、あっちの山に行きたい こっちの山にもいけるかなと心躍らせています。東北一周など長期山行があるのも特徴です。

機関紙の印刷は JR 高槻駅前にある市の交流センターでしています。今日も10人の会員が集まってきました。来週の三峰山のバスハイク(年6回程バスハイクがある)のここと、こないだの鍋開きのここと、マッターホルンに登りたい、漫画の貸し借りや恋バナまで、にぎやかに展開しながら、製本作業をしていきます。顔を合わせてしゃべるのも楽しくて印刷当番じゃなくても来る人もいるので前回は17名集まったとか。

入って間もなさそうな若手の男性に聞いてみると健康のために近所の山を登っていて一人で登る限界を感じていた時に、声をかけられたそうです。なんと！入会者は声をかけられた人とHPを見てくる人と半々ぐらいだということでした。初級学級という自前の登山学校があり、読図、岩体験、沢登りなど一通りのことを教えてもらえます。

(H. C. teruru 林りー)



出来上がったばかりの機関誌『ポンポン山』を片手に